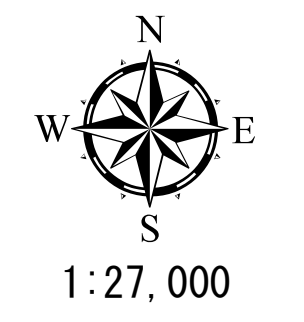
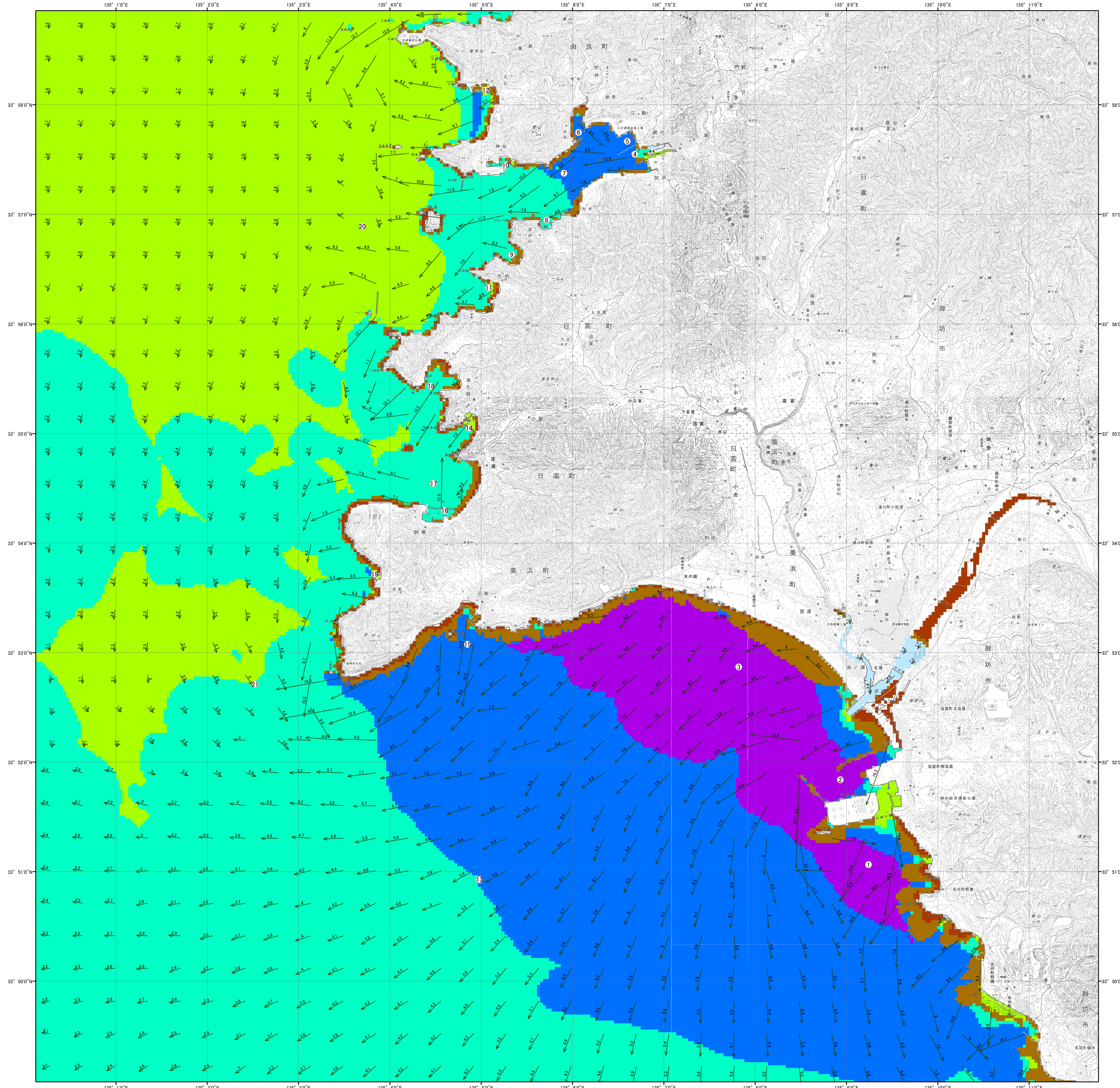


# 日高・由良港 津波防災情報図 (引潮図)

計算条件：最低水面(零位)  
 隆起量：平均-135cm(-154cm ~ -105cm)  
 Zo：1.10m  
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

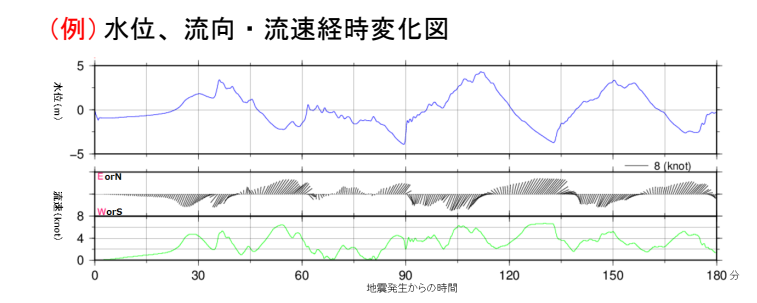


座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)

## 凡例

- 最大水位低下
- 10~最大13.4m
  - 5~10m
  - 3~5m
  - 2~3m
  - 0.5~2m
  - 0.5未満
  - 干出域
  - 露出域

⑮ 経時変化図出力点  
(図上の位置における津波の挙動を個別の経時変化図で示す。)

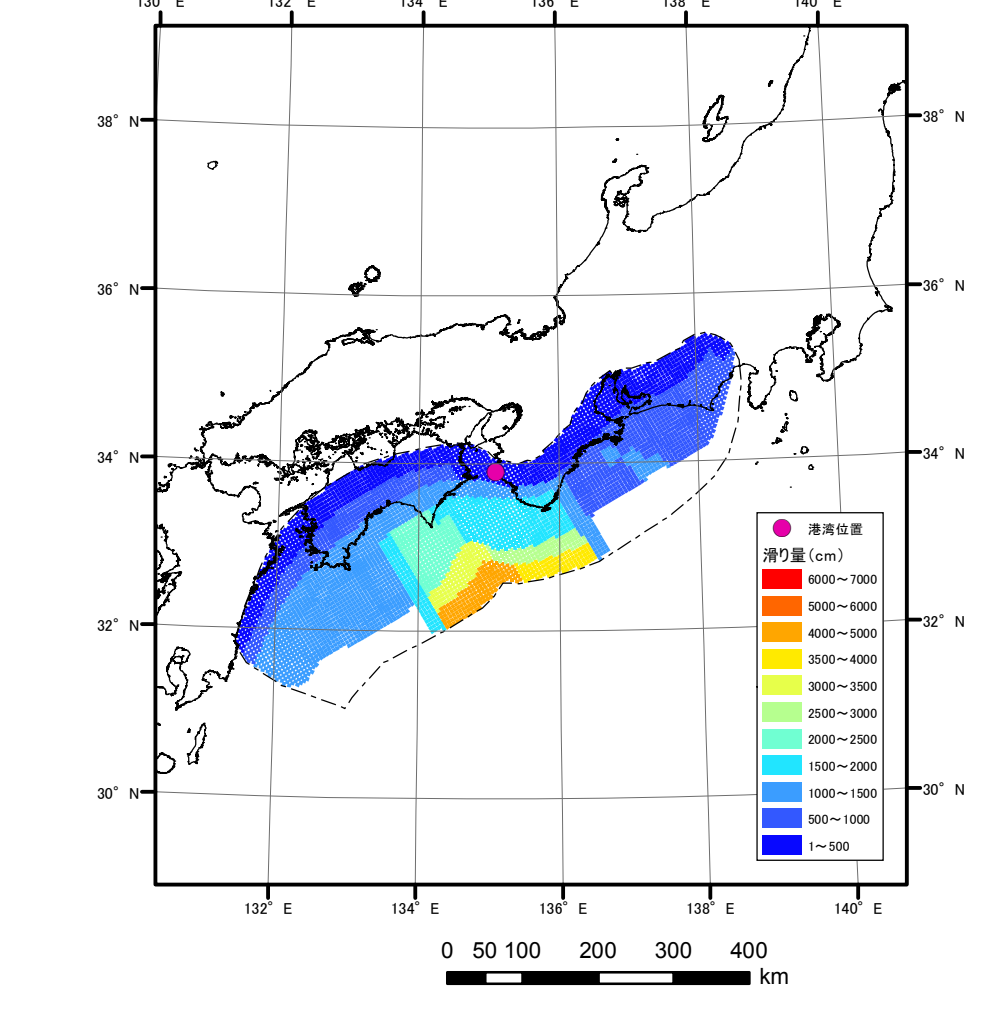


引潮時最大流 (knot)

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、震度6以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

## 断層モデル



ケース③「紀伊半島沖～四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km <sup>2</sup> )	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 <sup>27</sup>
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告) (平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

